

2014年7月号

7月15日(火)発行

釧路湿原国立公園

温根内ビジターセンター

月刊 温根内通信 No.214



夏の楽しみ…

飛び交うトンボ。子育て真っ最中の夏鳥たち。日陰で休むエゾシカの親子。ヨシやスゲの間でひっそりと咲く花。蜜を求めるハチやアブ。空いっぱい葉を広げるハンノキ。闇夜にやさしく光るハイケボタル。いよいよ釧路湿原の夏が始まります。

訪れる観光客も多くなるこの時期、静かに木道を楽しみたい方は早朝がおすすめです。さわやかな湿原の朝の空気が心を癒してくれるはずです。

☆☆☆温根内ビジターセンター 探勝木道周辺の自然情報☆☆☆



～温根内探勝木道周辺の植物～



【トキソウ】
ラン科 朱鷲草
姿が美しく、色が朱鷲（トキ）を思わせる薄いピンク色をしていることから名前が付けました。ミズゴケ湿原で咲いています。



【モウセンゴケ（葉）】
モウセンゴケ科 毛氈苔
ミズゴケ湿原をよく見ると、へら状で腺毛のある不思議な形の葉があります。モウセンゴケは、この腺毛で虫を捕えて栄養とする食虫植物なのです。



【エゾノシモツケソウ】
バラ科 蝦夷下野草
木道入口や鶴居軌道跡で咲いています。よく見ると、小さく上品なピンク色の花がたくさん集まって咲いているのが分かります。



【クロバナロウゲ】
バラ科 黒花狼花
漢字名に「オオカミ」が入っている濃い紫色の花が個性的なクロバナロウゲは、ヨシ・スゲ湿原で咲いています。



【タヌキモ】
タヌキモ科 狸藻
木道④付近で黄色い花を咲かせているタヌキモは食虫植物です。水中の葉の間の捕虫囊（ほちゅうのう）で動物プランクトンなどを捕えて栄養します。



【エゾノカワチシャ】
ゴマノハグサ科 蝦夷川萮苳
鶴居軌道の小さな沢を渡る橋の下で咲いています。チシャはレタスの和名で、若葉が食べられることにちなんでいます。

○表紙の写真 上：カラカネイトトンボ 中右：エゾノレンリソウとヒゲナガハナバチの仲間 中左：エゾシカ 下：コタヌキモ

～温根内探勝木道周辺の野鳥～

湿原では小鳥たちの子育てが始まりました。親鳥を追いかけるヒナたちのかわいらしい姿が見られます。もし木道でうすくまっているヒナを見つけても、そっとしておいてください。どこかで親鳥が見守っているはずですよ。ビジターセンターでは無料で双眼鏡を貸し出ししています。お気軽にご利用ください。



【オオアカゲラ】

キツツキ科 大赤啄木鳥 留鳥
温根内周辺では見る機会の少ないキツツキで、アカゲラと比べて大きく、胸に黒い縦斑が入り、背中の子供の逆ハの字模様はありません。



【ノゴマ】

ヒタキ科 野駒 夏鳥
喉のオレンジ色が特徴的で、温根内周辺ではミズゴケ湿原で見られます。木道をトコトコと走るひょうきんな姿が見られることもあります。



【エゾムシクイ】

ムシクイ科 蝦夷虫食 夏鳥
鶴居軌道跡で「ヒーターキー」と大きな声でさえずっています。センダイムシクイと似ていますが、頭から背中にかけて褐色味強いことで識別できます。



【カッコウ】

カッコウ科 郭公 夏鳥
ハンノキの上などでおなじみの声で鳴いています。他の草原性の小鳥に托卵（たくらん）する習性があることで知られています。

○温根内探勝木道周辺で観察された花（6月15日～7月14日）※和名は五十音順

■アカネムグラ■アキカラマツ■アヤメ■イケマ■イソツツジ（木本）■イタヤカエデ（木本）■エゾイヌゴマ■エゾイラクサ■エゾオオヤマハコベ■エゾカラマツ■エゾカンゾウ■エゾニフトコ（木本）■エゾノカワチシャ■エゾノクサイチゴ■エゾノシモツケソウ■エゾノタチツボスミレ■エゾノヨロイグサ■エゾノレンリソウ■オオアマドコロ■オオイヌノフグリ■オオウバユリ■オオカサモチ■オオダイコンソウ■オオツリバナ（木本）■オオハナウド■オオバナヤエムグラ■オオヤマフスマ■カキツバタ■カタバミ■キツネノボタン■ギョウジャニンニク■クサフジ■クロバナロウゲ■ゴキツル■コケイラン■コタヌキモ■コツマトリソウ■コメツブツメクサ■コンロンソウ■サギスゲ（綿毛）■シオガマギク■シコタンキンボウゲ■シロツメクサ■セイヨウタンポポ■セイヨウノゴギリソウ■タチギボウシ■タヌキモ■チシマアザミ■ツボスミレ■ツリバナ（木本）■ツルアジサイ（木本）■ツルコケモモ（木本）■ツルスゲ■トクソウ■ドクゼリ■ナガバツメクサ■ナナカマド（木本）■ノハラムラサキ■ノミノフスマ■バイケイソウ■ハナタネツケバナ■ハルザキヤマガラシ■ヒトフサニワゼキショウ■ヒメカイウ■ヒメジョオン■ヒメスイバ■ヒメタガラシ■ヒヨドリバナ■ヘラバヒメジョオン■ホザキシモツケ（木本）■ホソバナヨツバムグラ■マイヅルソウ■マムシグサ■ミズナラ（木本）■ミツガシワ■ミツバツチグリ■ミミナグサ■ムラサキツメクサ■ヤナギトラノオ■ヤマグワ（木本）■ヤマブキショウマ■ヤマブドウ（木本）■ユキザサ■ヨブスマソウ■ワタスゲ（綿毛）

○温根内探勝木道周辺で観察された鳥（6月15日～7月14日）※和名は日本鳥類目録第7版の順

■マガモ■キジバト■アオバト■アオサギ■タンチョウ■クイナ■ツツドリ■カッコウ■ハリオアマツバメ■トビ■オジロワシ■チュウヒ■アリスイ■コゲラ■アカゲラ■オオアカゲラ■モズ■ハシボソガラス■ハシブトガラス■ハシブトガラ■ヒガラ■シジュウカラ■ヒバリ■ショウドウツバメ■ヒヨドリ■ウグイス■ヤブサメ■エナガ■エゾムシクイ■センダイムシクイ■メジロ■シマセンニュウ■マキノセンニュウ■エゾセンニュウ■コヨシキリ■ゴジュウカラ■キバシリ■コムクドリ■アカハラ■ノゴマ■ノビタキ■コサメビタキ■キビタキ■オオルリ■ピンズイ■カラヒワ■ベニマシコ■イカル■アオジ■オオジュリン

※旬の自然情報についてはお気軽にスタッフまでお尋ねください。

※温根内木道周辺に咲いている花を折ったり持ち帰ったりしないようお願いいたします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いいたします。

☆☆自然ふれあい行事「初夏の湿原花ハイク」が開催されました☆☆



29日間降雨が続いた釧路もようやく晴れわたり、清々しい初夏の陽気のもと、観察会が開催されました。

講師の大西氏からは、植物の名前だけでなく、棲む環境や他の生き物との関係なども解説され、参加者は生き物同士のつながりについて感心していました。

ハンノキやちぼうずの秘密、人間の生活に密着したヨシの役割と意外な利用法、高層湿原で咲いているトキソウやツルコケモモの話などが続き、特に食虫植物タヌキモの、獲物を捕らえる方法とそのスピードについては参加者も驚いた様子で、植物の様々な戦略について興味深く聞き入っていました。(参加者11名)

☆☆☆☆☆イベントのご案内(8月) 事前の申し込みが必要です☆☆☆☆☆

○温根内ビジターセンター ⇒お申込み☎0154-65-2323

- 夏の湿原花ハイク、ザリガニウォッチング：10：00～12：00(定員15名)：要申し込み
- 無料ガイドウォーク：10時～、14時～(1日2回開催、定員10名、申込不要、定員になり次第締め切り)
- PV 定点解説：釧路湿原パークボランティアが木道の数か所で定点解説を行います。申込不要、定員無し

日	月	火	水	木	金	土
					1	2 無料ガイド ウォーク
3 夏の湿原 花ハイク	4	5 臨時開館	6	7	8	9 PV 定点解説
10 無料ガイド ウォーク	11	12 臨時開館	13	14	15	16 無料ガイド ウォーク
17 ザリガニ ウォッチング	18	19 臨時開館	20	21	22	23 無料ガイド ウォーク
24 無料ガイド ウォーク	25	26 休館日	27	28	29	30 無料ガイド ウォーク
31 無料ガイド ウォーク						

○塘路湖エコミュージアムセンター(あるこっと) ⇒お申し込み☎015-487-3003

♪夏休みプラ板工作

〔日時〕8月9日(土) 10：00～12：00 〔定員〕8名(小学生は保護者同伴)

〔参加費〕200円(材料費)

〔場所〕塘路湖エコミュージアムセンター

☆夏季休館日の開館について☆

今年も夏休み中(7月22日～8月19日)の休館日を臨時開館いたします。当日は環境省のアクティブレジャーとパークボランティアの方々が対応しております。

長年湿原に関わってきた人たちのお話も聞けますので、お気軽にお立ち寄りください。

月刊 温根内通信 No.214

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-0036 北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel：0154-65-2323 Fax：0154-65-2185

E-mail：ovc@hokkai.or.jp

ホームページ：http://city.hokkai.or.jp/~kkr946/

Facebook：https://www.facebook.com/Onnenai.VC

開館時間：10：00～17：00(11月～3月は16：00まで)

休館日：毎週火曜日(12/29～1/3は休館) 入館無料